

1. 目的

本マニュアルは、梶ヶ谷クリニック(以下、当院)を受診する患者に対して、来院後速やかに症状を把握し、緊急度に応じた診療の優先順位を決定することで、予後の改善と安全な外来運営を行うことを目的とする。

2. 対象患者

夜間、休日または深夜に当院を受診する全ての初診患者を対象とする。

※日中の時間帯であっても、緊急を要すると判断される場合は本基準を準用する。

3. 実施体制

実施者 : 専任の医師が行う。

場所 : 受付カウンター、または処置室・初療診察室。

開始時期 : 患者の来院後、原則として10分以内に評価を開始する。

4. トリアージ判定基準(JTAS準拠)

生理学的評価(バイタルサイン)と解剖学的評価(主訴・症状)を総合的に判断する。

緊急度(区分)	状態適応基準(代表例)	診療待機時間の目安
レベル1(蘇生)	心肺停止、意識消失、激しい呼吸不全、ショック状態、大出血。	直ちに診察開始
レベル2(緊急)	強く激しい頭痛・胸痛・腹痛、突然の麻痺、SpO2 90%以下、中等度の意識障害、ぐったりしている小児。	10分以内
レベル3(準緊急)	変形のある四肢外傷、中等度の痛み・呼吸苦、頻回の嘔吐・下痢による脱水、38.5°C以上の高熱(意識清明)。	30分以内
レベル4(低緊急)	縫合を要する程度の外傷・軽度の痛み、安定した発熱、安定した慢性症状。	60分以内
レベル5(非緊急)	症状が極めて軽微、継続処方のみの希望、いつもの症状。	120分以内

5. 評価の手順

第一印象の確認:

外観(顔色・表情)、意識(声掛けへの反応)、呼吸(苦しそうか)を瞬時に確認。

バイタルサインの測定:

必要に応じて、意識レベル(JCS/GCS)、血圧、脈拍、呼吸数、SpO2、体温を測定。

主訴・病歴の聴取:

「いつから」「どこが」「どのように」を確認し、重症化リスク(既往歴・年齢)を考慮。

判定・記録: 判定した緊急度(レベル1~5)を診療録(電子カルテ等)に速やかに記載する。

6. 患者・家族への説明と同意

トリアージ実施後、患者または家族に対し「病状により診察の順番が前後すること」を丁寧に説明し、理解を得る。

院内に「院内トリアージ実施料」に関する掲示を行い、運用の透明性を確保する。

7. 再評価

待機中の患者については、以下の間隔を目安に状態変化がないか再評価を行う。

イエロー(レベル3): 30分ごと

グリーン(レベル4): 60分ごと

※待機中に症状が増悪した場合は、直ちに緊急度を格上げ(アップトリアージ)する。

8. 施設基準の維持

本マニュアルは年1回以上見直しを行う。

担当スタッフに対し、定期的なトリアージ研修(JTAS講習会等)を実施する。

附則

本マニュアルは届出日(令和7年12月25日)より施行する。